

2023年3月31日 全9頁

## Indicators Update

# 2023年2月雇用統計

失業率は2.6%と5カ月ぶりに上昇するも、転職活動の活発化が要因

経済調査部 研究員 和田 恵

### [要約]

- 2023年2月の完全失業率（季節調整値）は2.6%と5カ月ぶりに上昇した。内訳を見ると、失業者数は5カ月ぶりに増加し、就業者数は大幅に減少した。失業者数増加の主な要因は「自発的な離職」によるもので、失業率は上昇したものの雇用環境は悪化しなかったといえよう。
- 2023年2月の有効求人倍率（季節調整値）は1.34倍（前月差▲0.01pt）と前月から低下、新規求人倍率（季節調整値）は2.32倍（同▲0.06pt）と6カ月ぶりに低下した。新規求人倍率の内訳を見ると、求職側が増加し、求人側は減少した。
- 先行きの失業率は経済活動の正常化の進展に伴って緩やかに低下しよう。また、人手不足の深刻化を受けて有効求人倍率は緩やかに上昇しよう。ただし、外需縮小などの影響による雇用環境の悪化には注意が必要だ。

図表1：雇用関連指標の推移

指標			2022年				2023年		
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	
労働力調査	完全失業率	季調値	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.6	%
	有効求人倍率	季調値	1.32	1.34	1.35	1.36	1.35	1.34	倍
一般職業紹介状況	新規求人倍率	季調値	2.30	2.33	2.38	2.38	2.38	2.32	倍
	現金給与総額	前年比	2.2	1.4	1.9	4.1	0.8	-	%
毎月勤労統計	所定内給与	前年比	1.4	1.0	1.5	1.4	0.8	-	%

(出所) 総務省、厚生労働省統計より大和総研作成

## 2月完全失業率：2.6%と5カ月ぶりに上昇

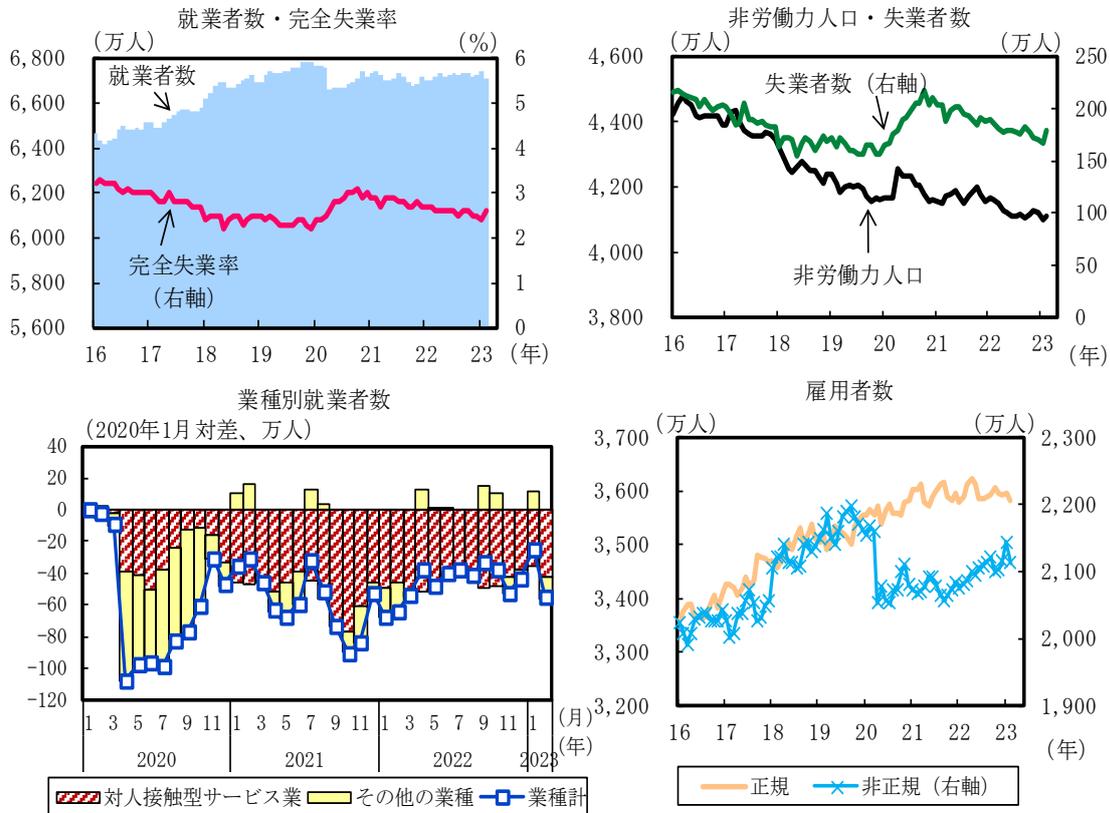
2023年2月の完全失業率（季節調整値）は2.6%と5カ月ぶりに上昇した（**図表2左上**）。内訳を見ると、失業者数（前月差+13万人）は5カ月ぶりに増加し、就業者数（同▲30万人）は大幅に減少した（**図表2右上・左上**）。就業者数の減少は前月までの2カ月の大幅増加の反動減が一部生じたとみられる。非労働力人口（同+9万人）は3カ月ぶりに増加し、労働力人口（同▲20万人）は3カ月ぶりに減少した。

失業者の内訳を見ると、「自発的な離職」（前月差+8万人）や「新たに求職」（同+3万人）、「非自発的な離職」（同+3万人）はいずれも増加した。失業者数は増加したものの、その主因は転職活動の活発化によるものと考えられる。就業者数の反動減や後述する求職者数の増加を踏まえると、雇用環境は悪化しなかったといえよう。

就業者数を業種別に見ると、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けやすい対人接触型サービス業（「宿泊業，飲食サービス業」及び「生活関連サービス業，娯楽業」と定義）は減少した（**図表2左下**）。対人接触型サービス業以外の業種は「卸売業，小売業」などを中心に減少した。

雇用者数（役員を除く）の動きを雇用形態別に見ると、正規雇用者（前月差▲15万人）、非正規雇用者（同▲31万人）はいずれも減少した（**図表2右下**）。雇用者数の回復は非正規がけん引しており、前月までの3カ月で+43万人と大幅に増加した。2月はこの反動減が一部生じたとみられる。他方、正規はこのところ減少傾向にある。

図表 2 : 就業者数・完全失業率 (左上)、非労働力人口・失業者数 (右上)、  
業種別就業者数 (左下)、雇用形態別雇用者数 (右下)



(注) 対人接触型サービス業は「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」。業種別就業者数のみ大和総研による季節調整値で、その他は総務省による季節調整値。

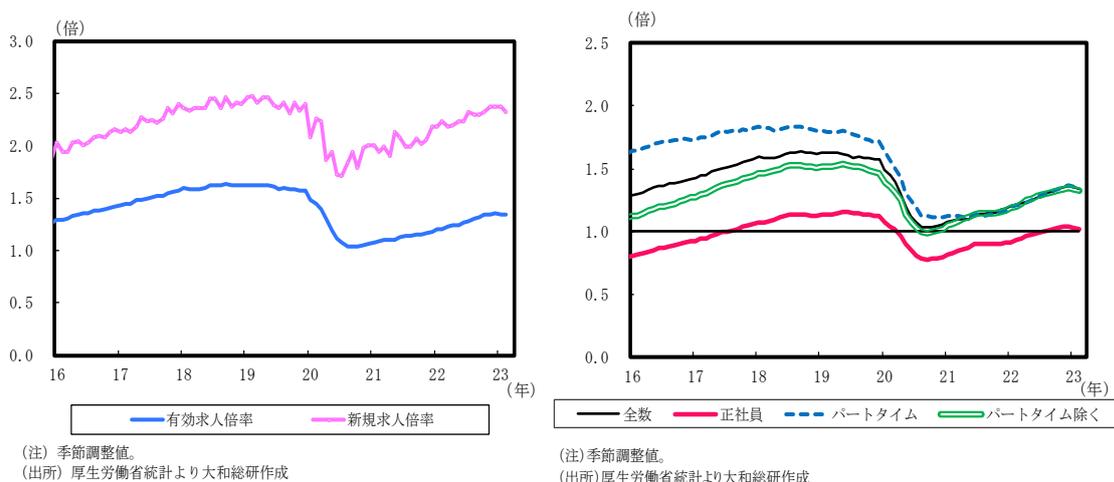
(出所) 総務省統計より大和総研作成

## 2月新規求人倍率：求職側の増加で6カ月ぶりに低下

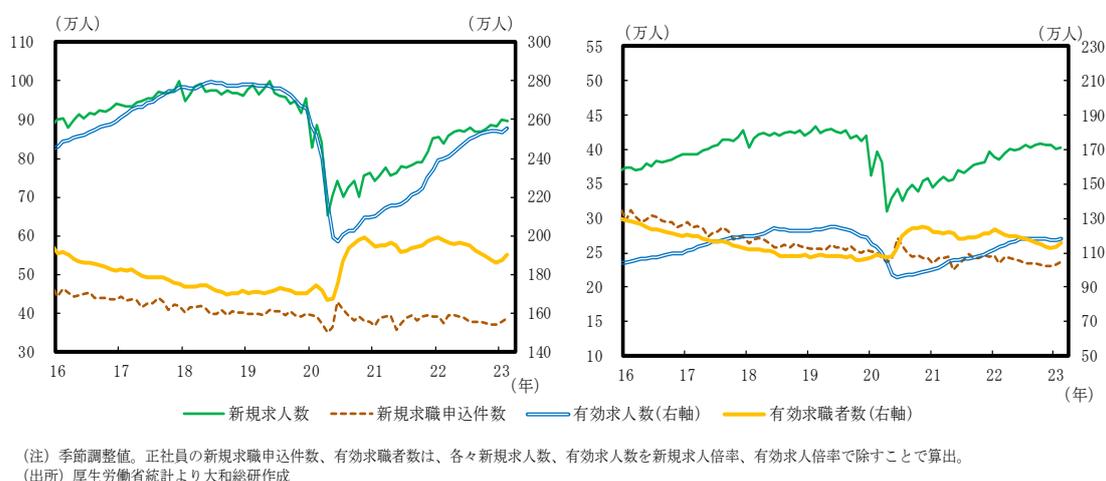
2023年2月の有効求人倍率（季節調整値）は1.34倍（前月差▲0.01pt）と2カ月連続で低下した。求職側の増加率が求人側のそれを上回ったことが要因だ。新規求人倍率（季節調整値）は2.32倍（同▲0.06pt）と6カ月ぶりに低下した（**図表3**）。求職側が増加し、求人側は減少した。なお、正社員の有効求人倍率は1.02倍と前月から低下したが、8カ月連続で1倍以上であった。

求人側の動きを見ると、新規求人数は前月比▲0.4%と2カ月ぶりに減少した（**図表4**）。業種別では「公務（他に分類されるものを除く）・その他」や「金融業、保険業」などが減少した。他方で「宿泊業、飲食サービス業」、「学術研究、専門・技術サービス業」などは前月から増加した。「宿泊業、飲食サービス業」は振れを伴いながらも増加傾向にある。なお、有効求人数は同+0.8%と増加した。有効求人数は回復傾向を維持しているが、足元ではその増加ペースが鈍化している。また、求職者側では新規求職申込件数は同+2.0%と2カ月連続で増加した。有効求職者数は同+1.6%と2カ月連続で増加した。有効求職者数は2022年初から減少傾向にあったものの、転職活動の活発化の影響もあり、このところ増加に転じている。

**図表3：有効求人倍率と新規求人倍率（左）、雇用形態別有効求人倍率（右）**



**図表4：求人倍率の内訳（左：全数、右：正社員）**

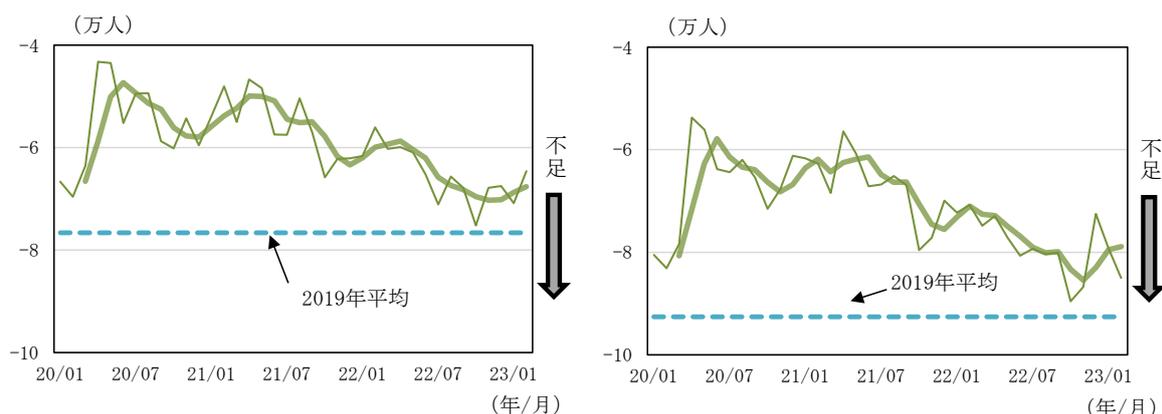


## 先行き：失業率は緩やかに低下、有効求人倍率は緩やかに上昇しよう

先行きの失業率は経済活動の正常化の進展に伴って緩やかに低下しよう。全国旅行支援などの需要喚起策や、訪日外客数の増加など対人接触型サービスの労働需要が増加しやすい環境にある。5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が現在の「2類相当」から「5類」に引き下げられることも追い風となろう。

有効求人倍率は緩やかに上昇しよう。今後は人手不足の解消が課題となるだろう。足元では一部に反動が見られるものの、「サービスの職業」の労働需給はタイト化している（**図表5**）。今後は、経済活動の正常化の進展に伴って飲食関連を中心に有効求人数の増加が予想される。ただし、新規求人数の約1割を占める製造業では、このところ新規求人数の回復が一服している。外需の縮小が製造業の生産を押し下げることで労働需要が縮小する可能性や、コストプッシュ・インフレによる景気の回復ペースの鈍化が雇用環境を悪化させる可能性には注意が必要だ。

図表5：「サービスの職業」の需給（左：一般労働者、右：常用パート）

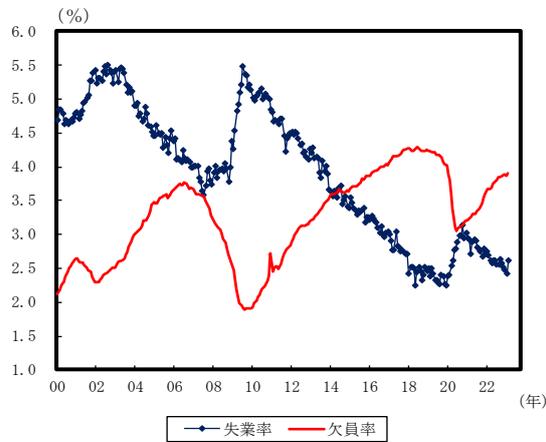


(注) 新規求職者数－新規求人数。太線は3カ月移動平均。

(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成

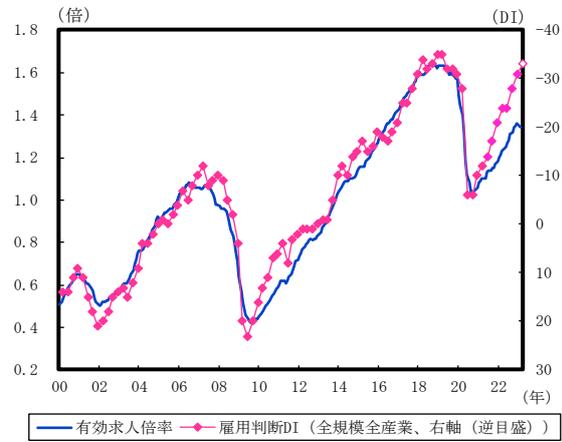
## 雇用概況①

## 完全失業率と欠員率



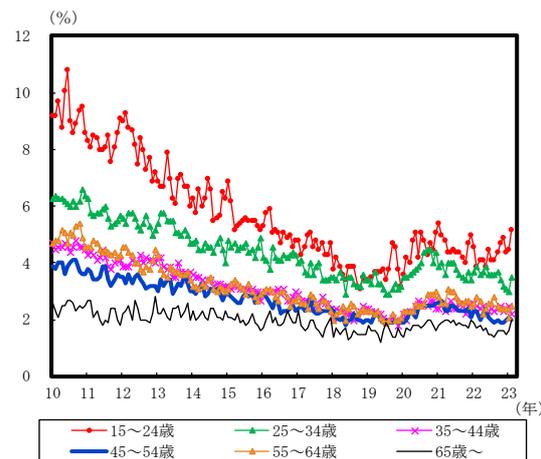
(注1) 欠員率 = (有効求人数 - 就職件数) / (雇用者数 + 有効求人数 - 就職件数)  
 (注2) 2011年3月～8月は補完推計値。  
 (出所) 厚生労働省、総務省統計より大和総研作成

## 有効求人倍率と雇用人員判断DI



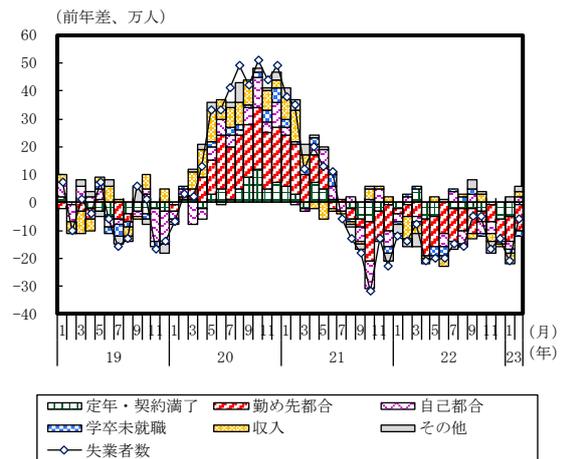
(注) 白抜きは雇用人員判断DIの「先行き」。  
 (出所) 厚生労働省、日本銀行統計より大和総研作成

## 年齢階級別完全失業率



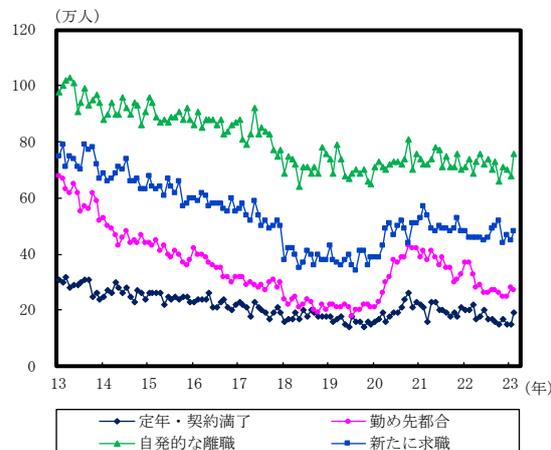
(注) 2011年3月～8月は補完推計値。  
 (出所) 総務省統計より大和総研作成

## 求職理由別完全失業者数



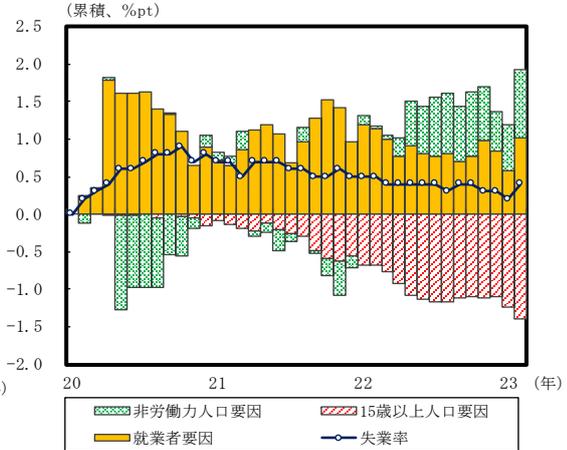
(出所) 総務省統計より大和総研作成

## 求職理由別完全失業者数



(出所) 総務省統計より大和総研作成

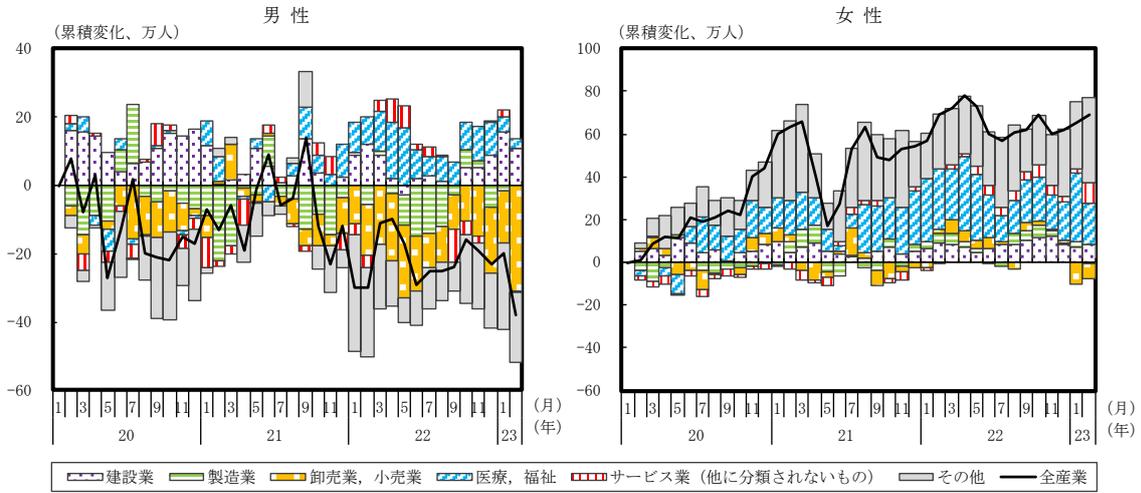
## 失業率の要因分解



(注) 季節調整値。2020年1月からの累積。  
 (出所) 総務省統計より大和総研作成

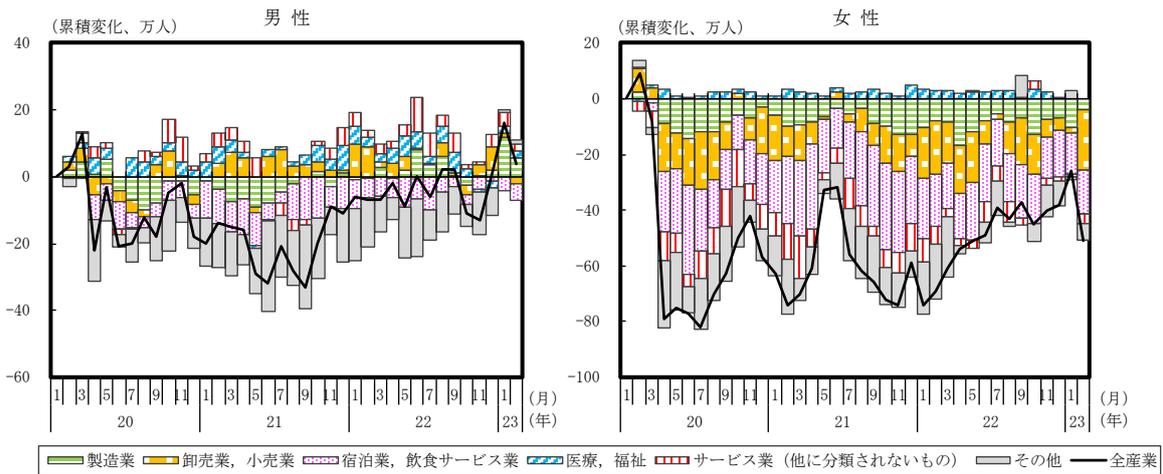
雇用概況②

正規雇用者数の要因分解



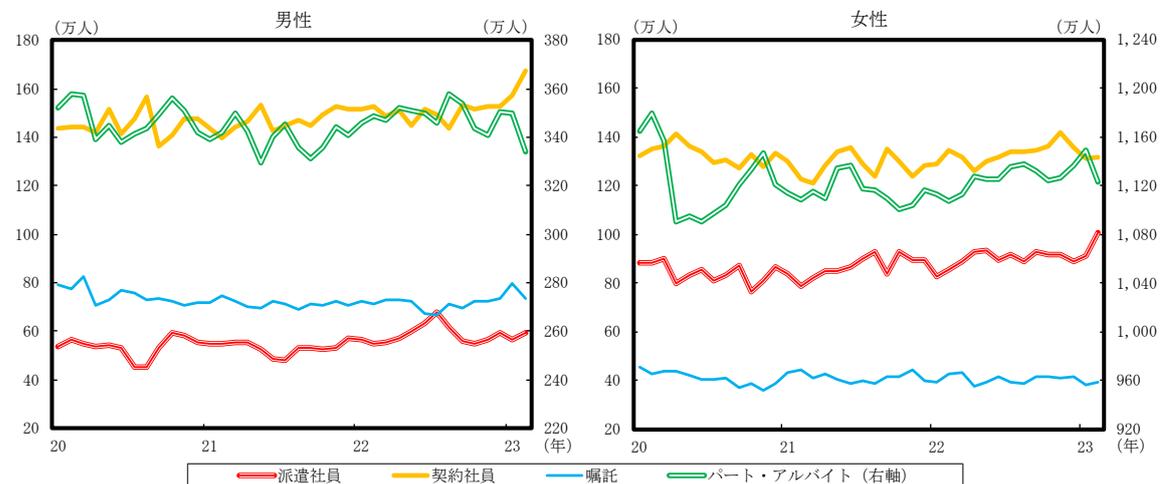
(注) 全産業は総務省による季節調整値。業種別は大和総研による季節調整値。  
 (出所) 総務省統計より大和総研作成

非正規雇用者数の要因分解



(注) 全産業は総務省による季節調整値。業種別は大和総研による季節調整値。  
 (出所) 総務省統計より大和総研作成

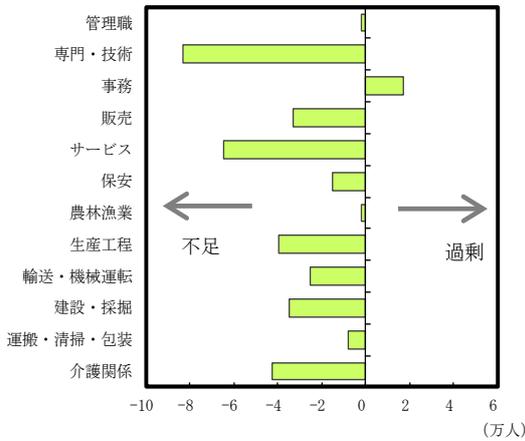
雇用形態別 非正規雇用者数



(注) 大和総研による季節調整値。  
 (出所) 総務省統計より大和総研作成

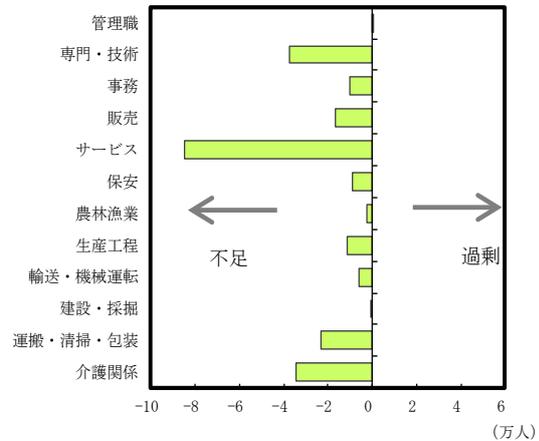
雇用概況③

職業別需給（2月新規、一般労働者）



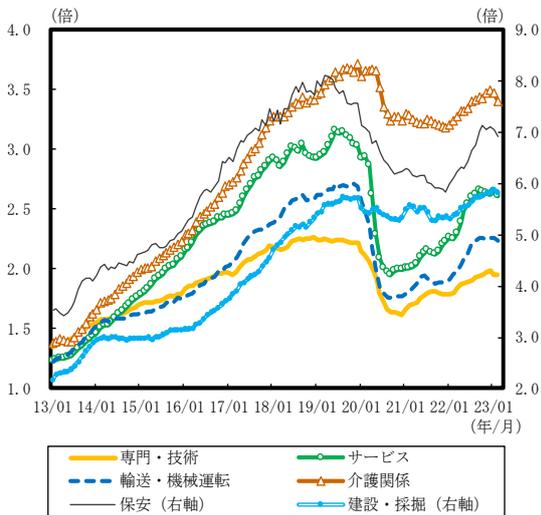
(注) 新規求職者数-新規求人数。常用（除パート）の値。  
(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成

職業別需給（2月新規、常用パート）

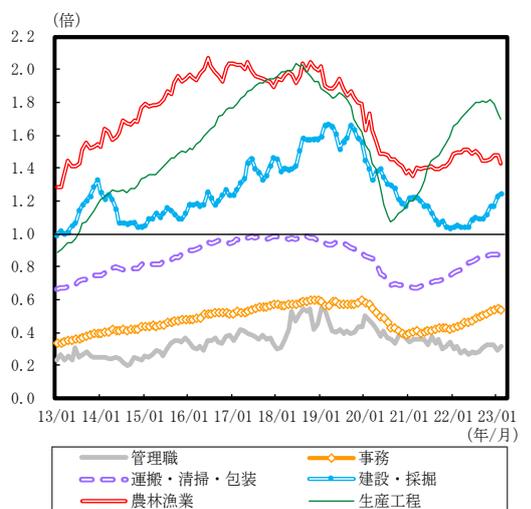
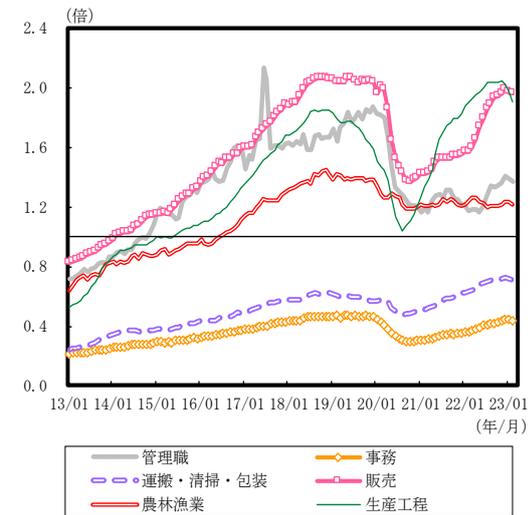
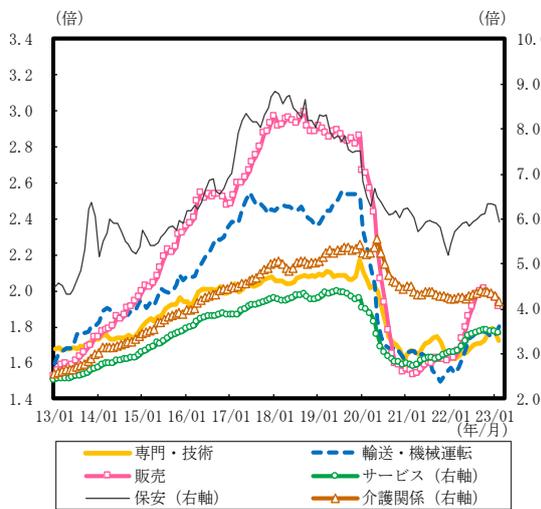


(注) 新規求職者数-新規求人数。常用的パートの値。  
(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成

職業別有効求人倍率（一般労働者）



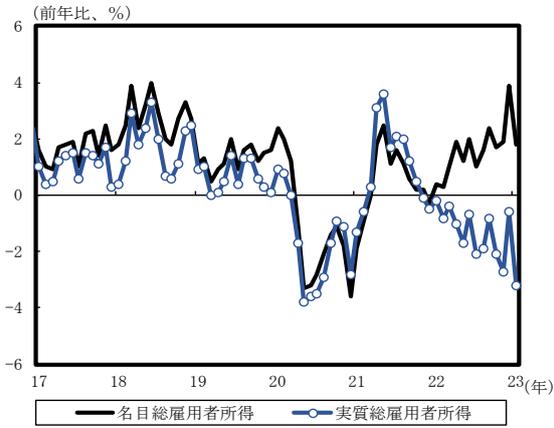
職業別有効求人倍率（常用パート）



(注) 季節調整は大和総研。専門・技術は「専門的・技術的職業」、事務は「事務的職業」、販売は「販売の職業」、サービスは「サービスの職業」、保安は「保安の職業」、農林漁業は「農林漁業の職業」、生産工程は「生産工程の職業」、輸送・機械運転は「輸送・機械運転の職業」、建設・採掘は「建設・採掘の職業」、運搬・清掃・包装は「運搬・清掃・包装等の職業」、管理職は「管理的職業」。介護関係は、「福祉施設指導専門員」「その他の社会福祉の専門的職業」「家政婦(夫)、家事手伝い」「介護サービスの職業」の合計。  
(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成

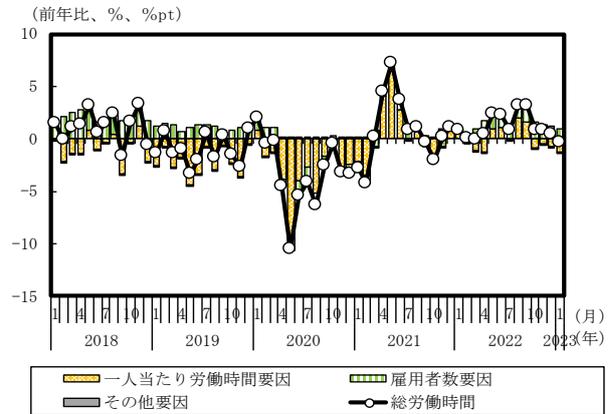
賃金概況

総雇用者所得



(出所) 内閣府統計より大和総研作成

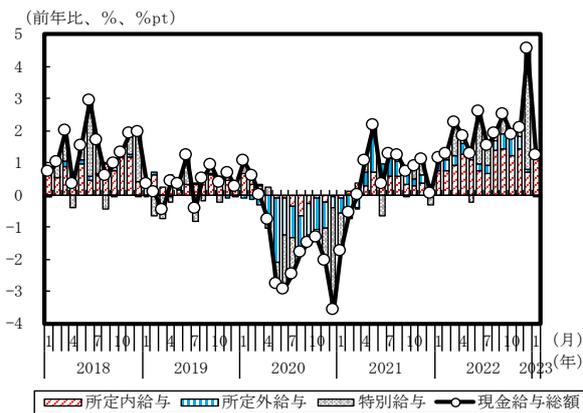
総労働時間の要因分解



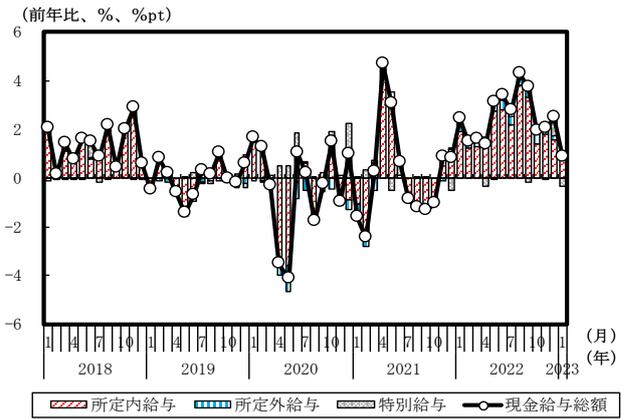
(注) 総労働時間＝雇用者数(労働力調査)×一人当たり労働時間(毎月勤労統計)。

(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成

現金給与と総額の要因分解 (左：一般労働者、右：パートタイム労働者)

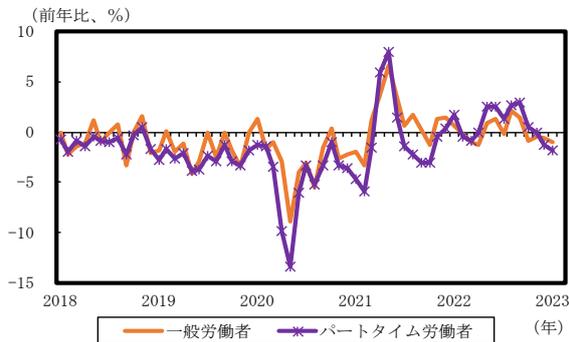


(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成



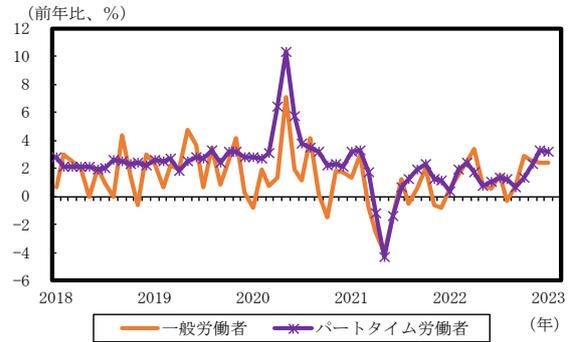
(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成

月間労働時間



(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成

平均時給



(出所) 厚生労働省統計より大和総研作成